

D-ILA プロジェクター

「プロジェクター キャリブレーション ソフトウェア 13」

取扱説明書

本書で使用するマークについて

V90R/V80R は、DLA-V90RLTD、DLA-V90R、DLA-V80R に対応します。

V70R/V50 は、DLA-V70R、DLA-V50 に対応します。

LD Model は、DLA-V90RLTD、DLA-V90R、DLA-V80R、DLA-V70R に対応します。

Lamp Model は、DLA-V50 に対応します。

マーク記載のない項目は、全ての機種に対応します。

「プロジェクター キャリブレーション ソフトウェア」とは

市販の光学センサーを使用することにより、常にプロジェクターを最適な状態でお楽しみいただくためのツールです。

■ キャリブレーション機能

本体の設置位置、レンズシフト／ズーム位置などのプロジェクターの設置条件で変化する画質を簡単な操作で、高精度なキャリブレーションを行なうことにより最適化し、設置条件に適した高画質映像をお楽しみいただけます。また、プロジェクターを長時間使用することによって発生する色バランスなどのズレも補正し、プロジェクターを常に最適な状態でお楽しみいただけます。

■ 環境対応

白い壁や間接照明などが画質に影響を与える場合に、影響を最小限に抑え、設置環境に適した映像設定を行うことができます。

■ 画質調整データのインポート / エクスポート

LAN 端子を経由して、画質設定データをプロジェクターからコンピュータ (PC) へ保存することや、PC からプロジェクターへのインポートすることができます。

■ ガンマデータ調整機能

お客様の好みに応じてプロジェクターのガンマカーブを任意に調整することができます。

※「プロジェクター キャリブレーション ソフトウェア」は、プロジェクター内部の設定を変更することで、プロジェクターのガンマ・色表示を調整するハードウェアキャリブレーションです。

※プロジェクター内部の設定が変更されることをご理解の上、ご利用ください。

必要なもの

- キャリブレーション対応プロジェクター
対応機種：DLA-V90RLTD、DLA-V90R、DLA-V80R、DLA-V70R、DLA-V50
- PC (パソコン)
- LAN ケーブル
- 光学センサー
対応機種：Datacolor 社製 SpyderX2 Ultra/Elite、SpyderX Elite/Pro
X-Rite 社製 i1 Pro2

※環境対応機能を使用する場合には、SpyderX2 または SpyderX センサーが必要です。

動作環境

本ソフトウェアを使用するには、以下の仕様を満たすハードウェア及びソフトウェアが必要です。

PC (コンピュータ) 対応 OS	Windows 10 (32-bit, 64-bit) Windows 11 (64-bit)
メモリー	1 GB 以上
記憶容量	500MB 以上
その他の機能	.NET Framework 3.5 SP1 ※1 USB ポート LAN ポート

※1 .NET Framework 3.5 SP1 をインストールするか、コントロールパネルから機能を有効にしてください。
インストール方法については Microsoft 社ホームページ等でご確認ください。

■ ご注意

上記の条件を満たすすべての PC について動作を保証するものではありません。
Macintosh には対応していません。

キャリブレーション調整までの操作手順

- 1 ソフトウェアを PC にインストール (P. 3)
- 2 本体と PC を LAN ケーブルで接続
- 3 PC 及びプロジェクターの設定 (P. 4)
- 4 ソフトウェアを起動 (P. 7)
- 5 光学センサーを接続
- 6 キャリブレーション (P. 8)

キャリブレーション調整までの準備

ソフトウェアのインストール

■ インストールを開始する前の注意点

- ◆ インストールをする前に、開いているソフトウェアを全て終了してください。
- ◆ インストール時、キャリブレーション時は、PC を管理者モードにし、PC のスクリーンモードや省電力機能を無効にしてください。
- ◆ 光学センサーのドライバをインストールする前に、光学センサーを PC に接続しないでください。

■ ソフトウェアのインストール方法

ホームページ上のダウンロードファイル「PJ_Calibration**_jp_v***.zip」をダブルクリックして、インストールを行ないます。任意のディレクトリにダウンロードしてファイルを解凍してください。

以下のファイルが作成されます。

● [PJ_Calibration**_v***.msi]

この「PJ_Calibration**_v***.msi」をダブルクリックし、インストールを行います。

- 1 「Projector Calibration Software セットアップウィザードへようこそ」ウィンドウが表示されます。[次へ] ボタンをクリックしてください。
- 2 「インストールフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。ファイルのインストール先を指定出来ませんが、特に問題がない限り保存先は変えずにお進みください。
- 3 「インストールの確認」ウィンドウが表示されます。[次へ] ボタンをクリックしてください。
- 4 インストールが完了すると「インストールが完了しました」ウィンドウが表示されます。「閉じる」ボタンをクリックすると終了です。自動でスタートメニューとデスクトップにショートカットができますので確認ください。

■ 注意

※本ソフトウェアは単独では動作しません。光学センサーと PC を USB ケーブルによって接続し、PC とプロジェクターを LAN ケーブルで接続してはじめて動作します。

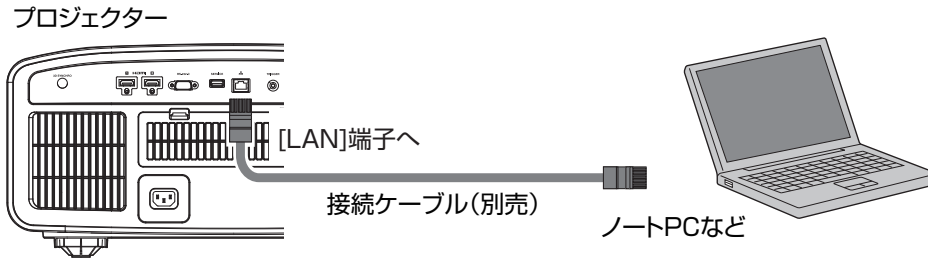
■ 光学センサーのドライバのインストール

使用する光学センサーのドライバをインストールしてください。

本キャリブレーションソフトウェアをご使用の際は光学センサー付属のソフトウェアを起動しないでください。

プロジェクター及び PC の設定

■ プロジェクターと PC を直結する場合



プロジェクターと PC を LAN ケーブルで接続します。

PC の TCP/IP とプロジェクターの「ネットワーク」を設定します。

● プロジェクターの「ネットワーク」設定

メニューの「機能」タブ内の項目「ネットワーク」を開いて設定します。「DHCP クライアント」を「オフ」にしてください。プロジェクターの「IP アドレス」と PC の IP アドレスは違うアドレスに設定してください。

例： PC [192 168 0 1]
プロジェクター [192 168 0 2]

「サブネット マスク」「デフォルトゲートウェイ」はプロジェクターと PC で同じ値に設定してください。

例： サブネットマスク [255 255 255 0]
デフォルトゲートウェイ [192 168 0 254]

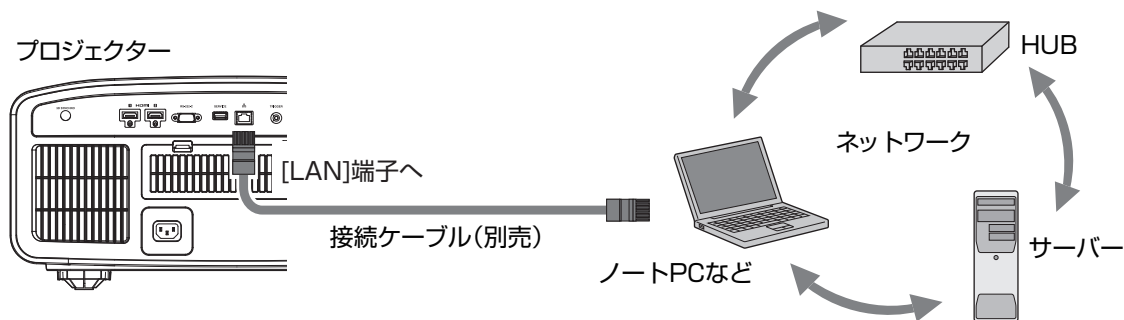
「セット」で OK を押すと、設定内容が反映されます。



※PC の設定についての詳細は PC の取扱説明書を参照ください。参考に Windows 10 の設定方法を P.19 に掲載しています。

※直結して使用する PC 内で DHCP サーバーが動作している場合は「DHCP クライアント」を「オフ」にして「セット」してください。

■ プロジェクターをネットワークに接続する場合



プロジェクターとネットワーク接続機器（ハブなど）をLANケーブルで接続します。

メニューの「機能」タブ内の項目「ネットワーク」を開いて設定します。
DHCPサーバーを使用する場合は「DHCPクライアント」を「オン」にして「セット」してください。自動でIPアドレスの取得を始めます。
IPアドレスをネットワーク管理者から指定された場合は、「IPアドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」を指定の値に設定してください。
「セット」でOKを押すと、設定内容が反映されます。



※PCの設定はPCの取扱説明書を参照ください。参考にWindows10の設定方法をP.19に掲載しています。

※ネットワークに関する詳細はネットワーク関連の文献や書籍をご参照する事をお勧めします。

※設定内容は接続されるネットワークのネットワーク機器や管理方法に依存します。

※DHCPサーバーの使用の可否を含めIPアドレスなどの設定値は、そのネットワーク管理者（アドミニストレーター）にご相談ください。

キャリブレーション

■ ご使用前の注意点

- キャリブレーションを行う環境によっては、工場出荷時のデータと異なる結果となる場合があります。
- キャリブレーション時は、PC を管理者モードにし、PC のスクリーンモードや省電力機能を無効にしてください。
- プロジェクターの電源投入後、キャリブレーションを実施する Picture Mode に設定し、30 分程度経ってからキャリブレーションを行ってください。
- 部屋の環境光は実際に使用する環境と同じにしてください。
- スクリーンに直接強い環境光が当たらないようにしてください。
- キャリブレーションソフトウェアを実行中は必ずプロジェクターの ECO Mode をオフにしてください。



- キャリブレーションソフトウェアを実行中はリモコン及び本体の操作ボタンを使用しないで下さい。
- キャリブレーションソフトウェアを実行中は HIDE モードには設定しないでください。
- 3 D 表示でのキャリブレーションはできません。
- Color Profile で以下のプロファイルが選択されている場合にはキャリブレーションはできません。別の Color Profile に設定してからキャリブレーションを行ってください。

V90R/V80R Off (Normal)、Off (Wide)

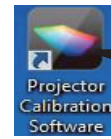
V70R/V50 Off

- **Lamp Model** アパーチャーで オート 1 または オート 2 が選択されている場合にはキャリブレーションはできません。手動に設定してからキャリブレーションを行ってください。
- **LD Model** Dynamic CTRL で Mode 1、Mode 2 または Mode 3 が選択されている場合はキャリブレーションできません。Off に設定してからキャリブレーションを行ってください。
- キャリブレーションソフトウェアを実行中にエラーメッセージが出た場合には、アプリケーションを終了させ、同時にプロジェクターの再起動を行ってください。また、再起動は 5 分程度経ってから行ってください。
- バックアップ、インポート、エクスポート中にエラーメッセージが出てアプリケーションを終了した場合は、再起動後、再度バックアップ等を実施してください。

※キャリブレーションを行いデータを保存すると、自動的にバックアップファイルが「設定」で指定したフォルダに保存され、それ以前に設定されていたデータは全て上書きされます。

ソフトウェアの起動

デスクトップ上の「Projector Calibration Software」のアイコンをダブルクリック



ダブルクリック

● 設定の手順

各種設定を行います。

- 1 設定アイコンをクリック。
- 2 各種設定を行ってください。



Network

IP Address	ネットワーク上でのプロジェクターの IP アドレスを入力してください プロジェクターの IP アドレスの確認は、「プロジェクター及び PC の設定」項を参照ください 入力後 Check ボタンをクリックし、PC との接続を確認してください
Port No.	特に問題がない限りこのままご使用ください

※ 今回のモデルでは Password の設定は必要ありません。

Function

Calibration Type *	キャリブレーションを実施するタイプを選択します
Gamma Step Quality Normal Speed	ガンマキャリブレーションの精度を設定します 33 ステップ 20 ステップ (初期値) 9 ステップ
Screen Size	ご視聴になる投影サイズを入力ください
Viewing Distance	ご視聴になる距離を入力ください

Display

Language	表示言語を選択ください
Message	チェックを外すと各機能の操作説明が表示されなくなります

Backup

File Path	バックアップを保存する場所をご指定ください
Serial No.	プロジェクターの製造番号を入力ください

※ キャリブレーションを行いデータを保存すると、指定したフォルダに自動的にバックアップファイルが保存されます。

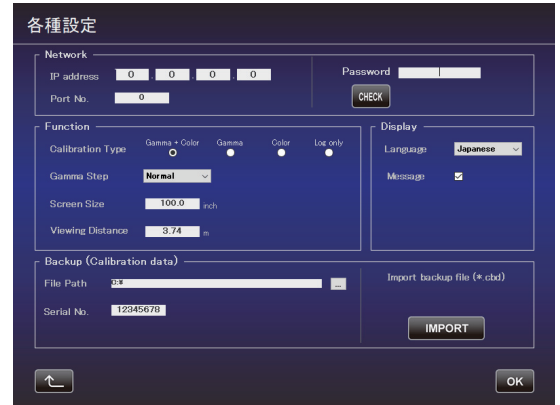
ファイル名「シリアル No. _設定した Picture Mode_ 年 - 月 - 日 - 時間. cbd」

工場出荷時のデータは、ファイル名「シリアル No. (8桁) _init_ 年 - 月 - 日 - 時間. cbd」で保存されますので、消去しないよう注意してください。

- 3 右下の「OK」ボタンをクリックして設定を保存してください。

■ バックアップデータの復元方法

- 1 IMPORT ボタンをクリック。
- 2 バックアップデータを指定したフォルダから選択し、開くをクリック。
- 3 バックアップデータがプロジェクターへインポートされます。



* Calibration Type

- Gamma+Color
ガンマ及びカラーのキャリブレーションを実施します
- Gamma
ガンマのみキャリブレーションを実施します
- Color
カラーのみキャリブレーションを実施します
- Log only
現在の状態を測定します

キャリブレーションの手順

本体の設置位置、レンズシフト/ズーム位置などのプロジェクターの設置条件で変化する画質やプロジェクターを長時間使用することによって発生する色バランスなどのズレを補正します。

1 光学センサーを PC に接続し、「調整」ボタンをクリック

2 使用する光学センサーのボタンをクリック

※ i1 Pro2 は使用前に光学センサーの初期化が必要です。光学センサーの取扱説明書をご確認いただき、センサーをセンサー付属のキャリブレーションプレートにセットしてから PC へ接続しボタンをクリックしてください。

3 光学センサーの受光部をスクリーンへ向けて設置してください。

SpyderX2 または SpyderX を使用の場合はセンサーとスクリーンとの距離を 30cm (12 インチ) にしてください。センサーの受光領域はスクリーン上でおよそ半径 5cm (2 インチ) の範囲です。受光領域にセンサー自身の影が入らないようにしてください。

スクリーン面がオレンジ色の範囲に入るよう、プロジェクターとスクリーンの距離を調整してください。

4 Picture Mode 等各項目がキャリブレーションを行う設定になっているかを確認してください。異なる場合はトップ画面に戻ってからプロジェクターを操作してキャリブレーションする設定に変更してください。

必要に応じて、Option の設定を変更してください。確認後、「START」ボタンをクリック。

■ Option (Calib. Result)

Gamma と Color のキャリブレーション結果の反映範囲を選択します。精度を優先する場合には Individual を選択してください。

Individual	キャリブレーション結果を現在のモードのみに反映します。 ただし、他の画質モードを選択した場合にも、下記設定値が同じ場合には結果が反映されます。 LD Model Aperture, Filter Lamp Model Aperture, Lamp Power, Filter
Reflect to All	キャリブレーション結果を全てのモードに反映します。

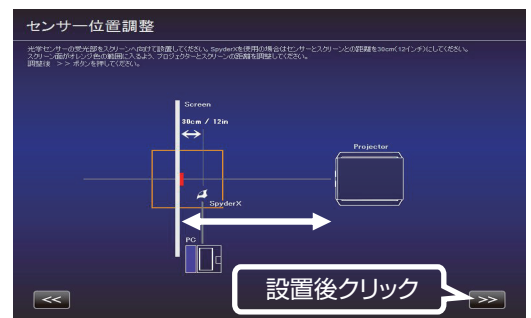
※ Custom1 ~ 4 については、Profile Name は反映されず、Custom1 ~ 4 で表示されます。

※ Picture Mode が表示されなかった場合は、「<<」ボタンを押し、一旦前画面に戻り、再度この画面に進んでください。

※ Filter は、選択した Color Profile に応じて自動的に設定されます。

※ 実際に映像を視聴する画質モードに設定してからキャリブレーションを実施してください。

※ Gamma は映像タイプが HDR10+、HDR10、HLG の時は Tone Mapping と表示されます。



- 5 キャリブレーション中です。
 キャリブレーション中は、周囲の光が変化しないようにしてください。
 キャリブレーション結果に影響を与えます。

※データの書き込み中、表示画面にノイズが出る場合があります。

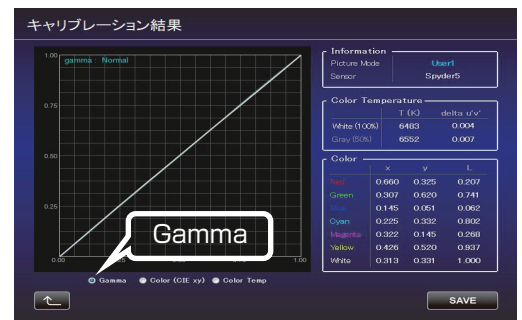


- 6 各 Calibration Type の結果が表示されます。

Gamma

キャリブレーション結果が白色で表示されます。
 キャリブレーションを行う前の状態は青色の線で表示されます。
 緑色の線は Gamma 2.2 を表します。

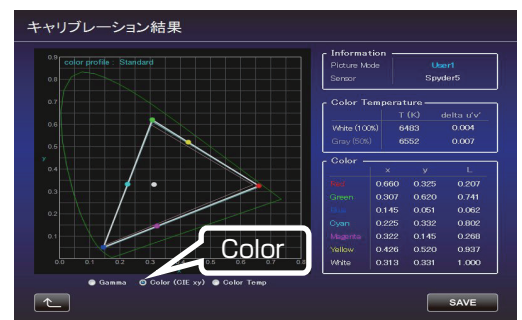
※画質モードが HDR10 のときは、キャリブレーション結果が Gamma 2.2 に沿った直線で表示されます。これはキャリブレーション動作に伴う一時的なもので、キャリブレーション結果の保存後には HDR10 コンテンツの鑑賞に適した通常のカーブに戻ります。



Color

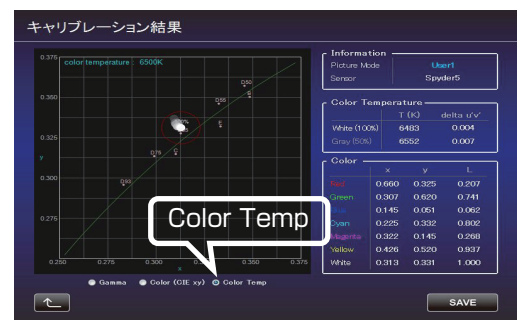
キャリブレーション結果が白色で表示されます。
 キャリブレーションを行う前の状態は青色の線で表示されます。
 ピンクの線は Rec.709 の色域 を表します。
 各色の色度が x y 値で表示されます。

※ Custom1 ~ 4 については、Profile Name は反映されず、Custom1 ~ 4 と表示されます。

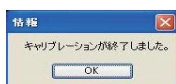


Color Temp

各階調での color Temperature の色度を、各階調の●印で表示します。
 赤丸は狙いの色度 xy ±0.01 の円を示します。



- 7 結果に問題がなければ保存してください。
 「SAVE」ボタンをクリック。
 保存が終了すると、終了情報が表示されます。
 「OK」をクリック。
 トップメニューへ戻ります。



中止する場合は、 をクリック。
 トップメニューへ戻ります。



■ ご注意

キャリブレーション結果にスクリーンの特性が含まれます。
 キャリブレーション後には、プロジェクターのスクリーン補正をオフに設定する事をお勧めします。

カラープロファイルの作成

カラースペース、色温度、ガンマの情報を含んだカラープロファイルを作成します。

1 「作成」ボタンをクリック。

2 カラープロファイルの作成。

作成したい Color Space と Color Temp をプルダウンメニューから選択してください。
数値を直接入力することもできます。


V90R/V80R Information が表示された場合は、指示にしたがって Filter Type を選択してください。

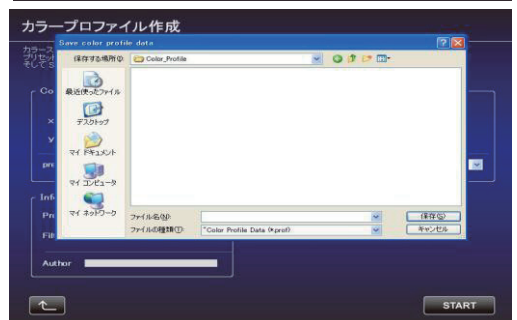
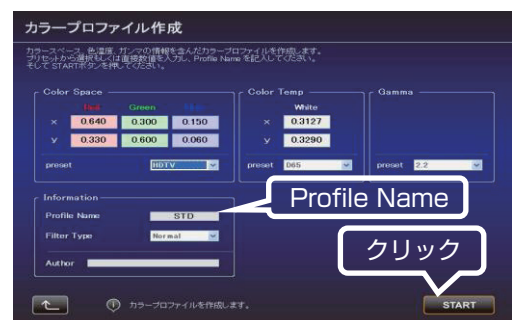
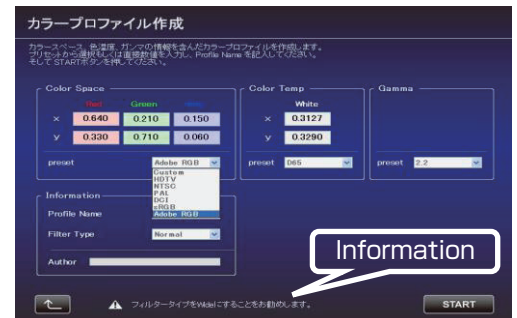
V70R/V50 Filter Type は選択不要です。(Normal 固定)

作成したい Gamma 値をプルダウンから選択してください。

3 プロファイル名を入力してください。
(ASCII 文字 10 文字以内 拡張子は prof になります。)
入力後、「START」ボタンをクリック。


※ カラープロファイルデータをプロジェクターに反映させる場合は、インポート機能を使ってプロジェクターにインポートしてください。

ファイル名を入力し、保存してください。
Author には、作成者の名前を入力することができます。
中止する場合は、 ボタンをクリック。
トップメニューへ戻ります。



ガンマデータ調整の手順

ガンマデータの調整を行います。

- 1 「ガンマデータ調整」ボタンをクリック。
- 2 調整したいカスタムガンマテーブルを選択してください。
- 3 ベースとするガンマ設定値を選択してください。
- 4 調整したい色を選択してください。
- 5 マウスを用いてガンマカーブを調整してください。
左下のスクロールバーを用いても調整することができます。
- 6 「SAVE」ボタンをクリックすると、作成したガンマデータをPCに保存することができます。
- 7 調整が終了しましたら  をクリックしてください。
トップメニューへ戻ります。



インポート / エクスポートの手順

画質設定データの保存・取り込み、カラープロファイルの取り込み、ガンマデータの取り込みを行います。

1 「インポート / エクスポート」 ボタンをクリック。



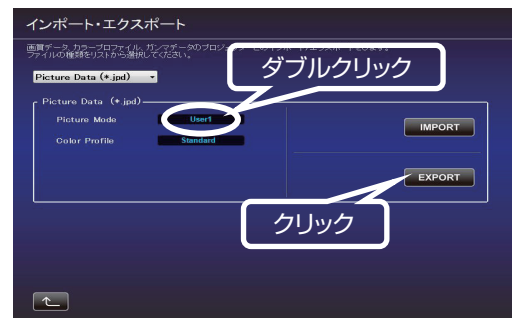
■ 画質設定データのインポート / エクスポート

● エクスポート手順

① プルダウンメニューをクリックし、「Picture Data (*.jpg)」を選択ください。



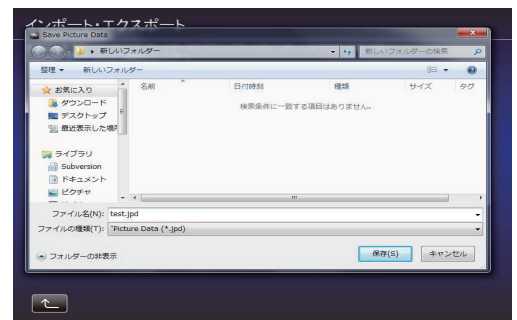
② Picture Mode 名をダブルクリックし、プルダウンメニューからエクスポートを行う Picture Mode (User*) を選択し、「EXPORT」ボタンをクリック。




※ Picture Mode が表示されなかった場合は、「 << 」ボタンを押し、一旦前画面に戻り、再度この画面に進んでください。

※ プロジェクターの映像タイプの設定によって表示される Picture Mode は異なります。

③ 保存先を選択し、ファイル名をつけて保存します（拡張子は jpg になります）。



中止する場合は、 ボタンをクリック。（トップメニューに戻ります。）

● インポート手順

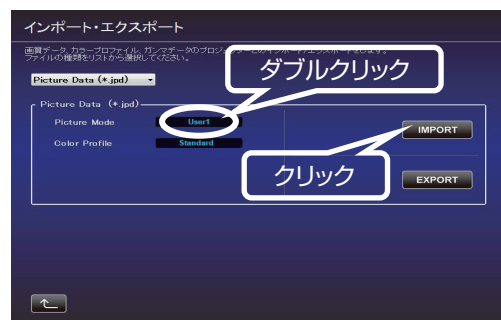
① プルダウンメニューをクリックし、「Picture Data (*.jpg)」を選択ください。



- ② Picture Mode 名をダブルクリックし、プルダウンメニューからインポートを行う Picture Mode (User*) を選択し、「IMPORT」ボタンをクリック。

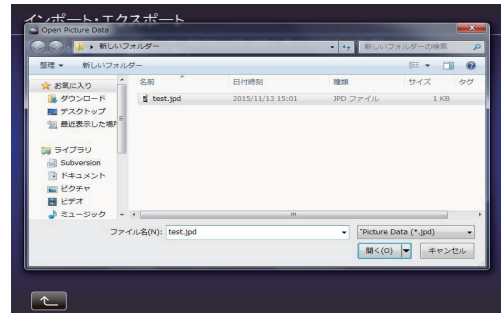
※ Picture Mode が表示されなかった場合は、「 << 」ボタンを押し、一旦前画面に戻り、再度この画面に進んでください。

※ プロジェクターの映像タイプの設定によって表示される Picture Mode は異なります。




- ③ ファイルの場所からファイル (***.jpd) を選択します。

※ 選択するファイルはインポート先と同じ映像タイプで保存したデータを使用してください。



- ④ START ボタンをクリック。

中止する場合は、 ボタンをクリック。(トップメニューに戻ります。)



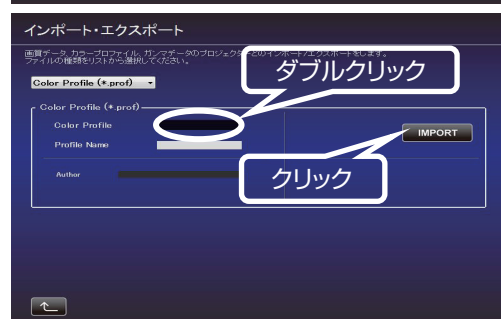
■ カラープロファイルのインポート

- ① プルダウンメニューをクリックし、「Color Profile (*.prof)」を選択ください。

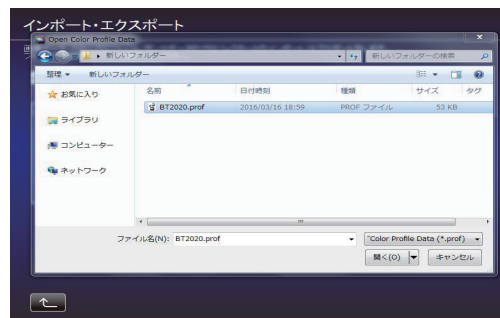


- ② Color Profile (Custom1 ~ 4) をダブルクリックし、プルダウンメニューからインポートを行う Color Profile (Custom1 ~ 4) を選択してください。


- ③ 「IMPORT」ボタンをクリック。

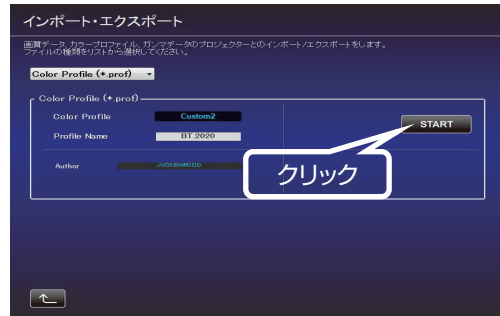


④ ファイルの場所からファイル (***.prof) を選択します。



⑤ 「START」 ボタンをクリック。

中止する場合は、 ボタンをクリック。(トップメニューに戻ります。)



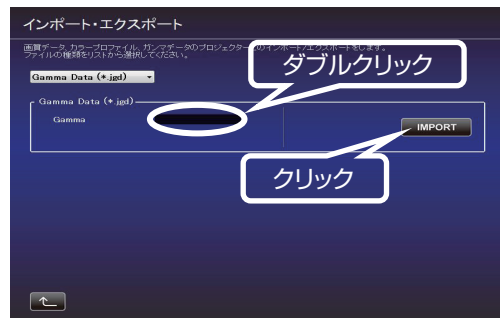
■ガンマデータのインポート

① プルダウンメニューをクリックし、「Gamma Data (*.jgd)」を選択ください。

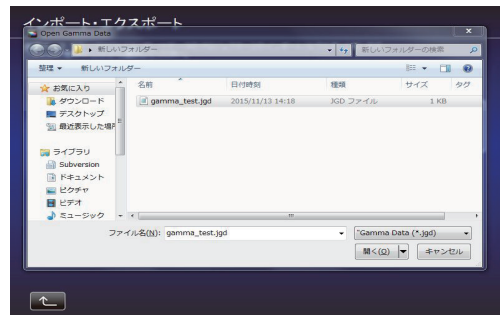


② Gamma (Custom1 ~ 3) をダブルクリックし、プルダウンメニューからインポートを行う Gamma (Custom1 ~ 3) を選択してください。


③ 「IMPORT」 ボタンをクリック。

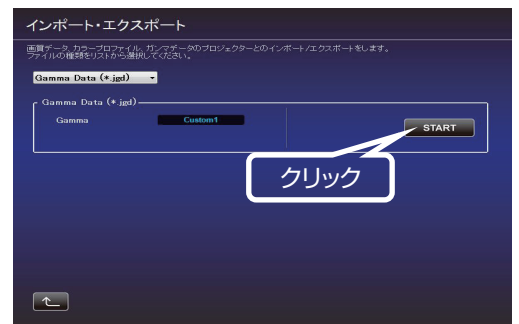


④ ファイルの場所からファイル (***.jgd) を選択します。



⑤ 「START」 ボタンをクリック。

中止する場合は、 ボタンをクリック。(トップメニューに戻ります。)



環境設定

白い壁や間接照明などが画質に影響を与える場合に、影響を最小限に抑え、設置環境に適した映像設定を行うことができます。
環境対応機能を使用する場合には、SpyderX2 または SpyderX センサーが必要です。

※Picture Mode で Frame Adapt HDR、HDR10+ または FILMMAKER MODE が選択されている場合には環境設定はできません。別の Picture Mode に設定してください。

1 「環境対応」ボタンをクリック。

2 光学センサーを PC に接続してください。

接続が確認できましたら、使用する光学センサーのボタンをクリック。

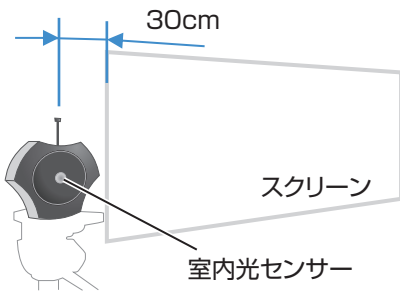
3 光学センサーの設置。

環境光量（フレア光量）を測定します。

環境光は実際に使用する環境と同じ設定にしてください。

環境光測定中は、周囲の環境（光）が変化しないようにしてください。結果に影響を与えます。

設置例



光学センサーは、プロジェクターからの直接の光が当たらない位置（投影画像の端から外側に 30cm が目安）に光学センサーをスクリーンに平行にした状態で室内光センサー側がプロジェクター側を向くように設置してください。

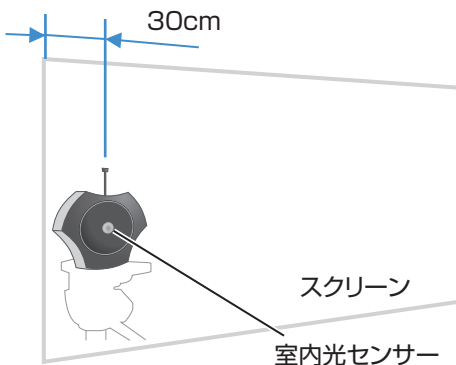
4 設置後 「 >> 」 ボタンをクリック。

5 光学センサーの設置。

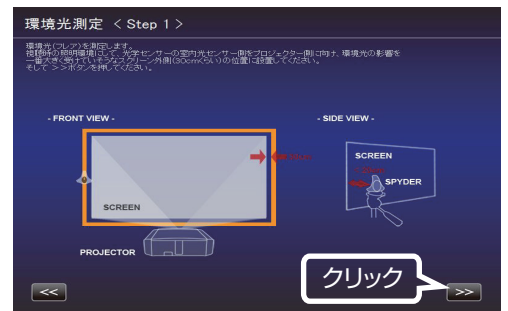
投影光量を測定します。

環境光は実際に使用する環境と同じ設定にしてください。

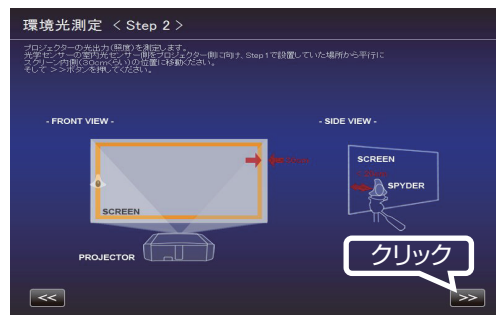
設置例



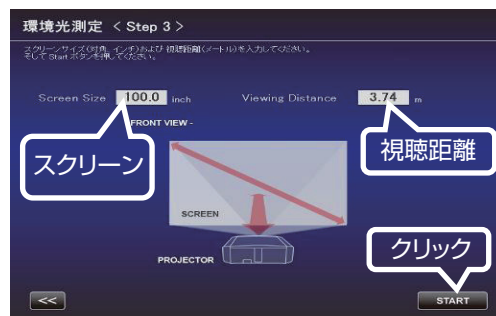
投影画像の端から 30cm を目安としてスクリーンに接触させるように室内光センサー側がプロジェクター側を向くように設置してください。



6 設置後 「 >> 」 ボタンをクリック。




7 ご視聴になるスクリーンサイズと視聴距離を入力し、「START」ボタンをクリック。




8 推奨設定が表示されます。

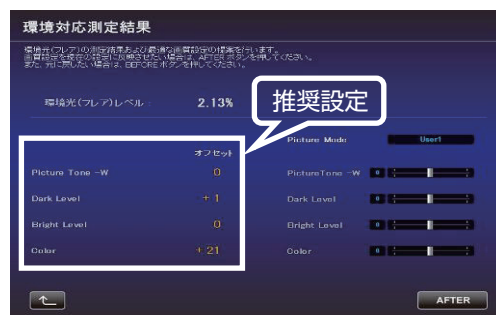
Picture Tone -W
Dark Level
Bright Level
Color

この設定で映像をご覧になるには、「AFTER」ボタンを押してください。推奨設定がプロジェクターへ反映されます。この設定を保存するには、この状態（ボタンが BEFORE の状態）で  ボタンをクリック。

元に戻すには、「BEFORE」ボタンを押してください。プロジェクターが元の状態へ戻ります。

結果に問題があれば測定をやり直してください。

中止する場合は、 ボタンをクリック。（トップメニューに戻ります。）



ソフトウェアの終了

- 1 トップメニューに戻り、「EXIT」をクリック。



■ こんなメッセージが表示されたら

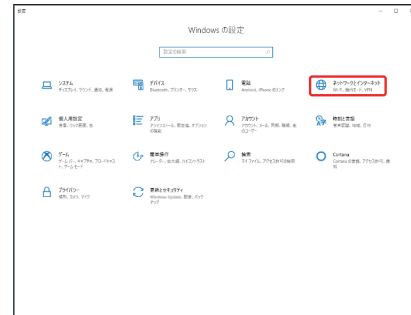
エラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従った操作を行ってください。

メッセージ	対応（内容）
機種判定エラーです。	一旦前画面に戻り、入力信号を確認した後、再度エラーメッセージの表示された画面に進んでください。 ※ 本ソフトウェアは、対応機種以外では使用できません。
LAN 接続が確立できませんでした。 再度、LAN 設定を行ってください。	トップメニューから設定画面に進み、Network の「CHECK」ボタンで LAN の接続を確認してください。 「NG」が表示された場合は、再度、LAN 設定を行ってください。

ネットワーク設定方法 (Windows 10 の場合)

1 デスクトップ左下のスタートボタンから「設定」(歯車マーク)をクリックします。

2 「Windows の設定」画面が開いたら「ネットワークとインターネット」をクリックします。



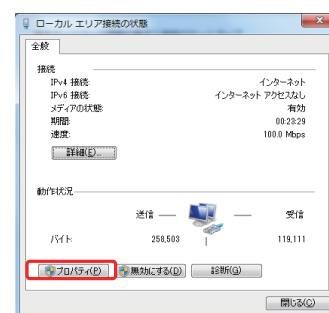
3 「状態」の「ネットワークの詳細設定」から「ネットワークと共有センター」をクリックします。



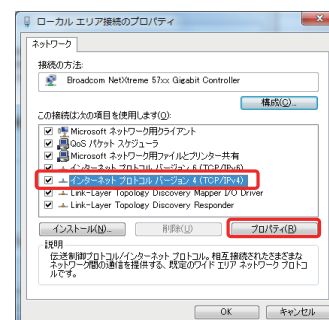
4 「イーサネット」をクリックします。(無線 LAN で接続している場合には以下、「Wi-Fi」と読み替えます。)



5 「プロパティ (P)」を選択します。

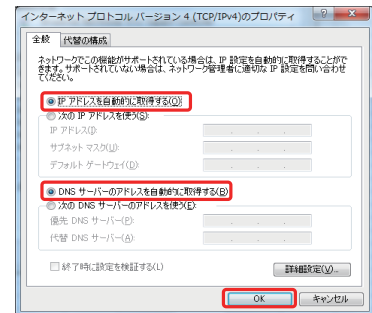


6 「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択してから「プロパティ (R)」を選択します。



7 ルーター経由で LAN 接続している場合には 8) に進み、12) で設定完了します。
 プロジェクターと PC を LAN ケーブルで直接接続している場合には 13) に進み、16) で設定完了します。

8 「IP アドレスを自動的に取得する (O)」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する (B)」の左にチェックします。
 → 「OK」をクリックしてから、すべてのウィンドウを「×」ボタンで閉じます。



9 プロジェクターの電源を入れてください。

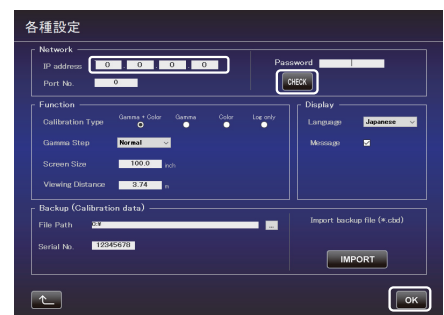
「メニュー」→「機能」→「ネットワーク」を選択して 10) に進みます。

10 「DHCP クライアント」を「オン」に設定します。
 「セット」を選択して、「ネットワーク設定を適用しますか？」で「はい」を選択します。

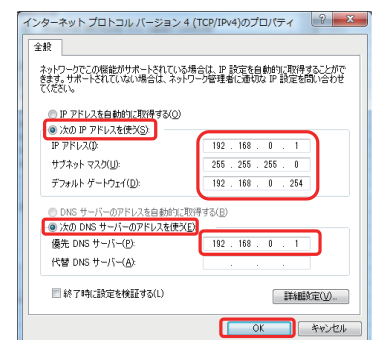


11 10) の画面に戻ったら、「IP アドレス」の数値 (例では、192 168 0 2) をメモします。

12 PC で「プロジェクターキャリブレーションソフトウェア」を起動し、右端の「設定」を選択します。
 右記の画面で、「IP address」の欄に、11) でメモした数値を入力します。
 「CHECK」をクリックして、ボタン右横に“OK”が表示されれば、右下の「OK」をクリックして設定完了です。



13 「次の IP アドレスを使う (S)」の左にチェックして、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルト ゲートウェイ」の各欄に右記の数値を入力します。「次の DNS サーバーのアドレスを使う」の左にチェックして、「優先 DNS サーバー」の欄に下記の数値を入力します。
 → 「OK」をクリックしてから、すべてのウィンドウを「×」ボタンで閉じます。



14 プロジェクターの電源を入れてください。

「メニュー」 → 「機能」 → 「ネットワーク」 を選択して 15) に進みます。

15 「DHCPクライアント」を「オフ」に設定します。
「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の各欄に右記の数値を入力します。
「セット」を選択して、「ネットワーク設定を適用しますか？」で「はい」を選択します。



16 PCで「キャリブレーションソフトウェア」を起動し、右端の「設定」を選択します。
右記の画面で、「IP address」の欄に、右記画面の数値を入力します。
「CHECK」をクリックして、ボタン右横に“OK”が表示されれば、右下の「OK」をクリックして設定完了です。



仕様は改善のため予告なく変更することがあります。

登録商標について

- Spyder、SpyderPro は、Datacolor 社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- i1 は、X-Rite 社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

ホームページ <https://www.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12